



仮設診療所で診察するAMDAの医師（AMDA提供）

## 岡山でAMDA 救援状況を報告

インド洋大津波

スマトラ沖地震による津波の被災地支援のため、緊急救援活動を続けている国際医療ボランティアAMDAは十三日、岡山市櫛津の本部で現地での救援状況について報告会を開いた。（2面に関連記事）

二日から十一日までインドネシアで調整員として救援活動に従事した柳田展秀調整員が現状を報告。救援物資が届いたときの様子やけが人を手当てする医師、津波で崩壊した町などのビデオ映像や写真で説明した。

柳田調整員は「病院も津波の被害を受け、不衛生で医療活動が難しい状

態が続いている」と指摘。家を失い路上で生活する人があふれ、各地で道路が寸断されていて被害状況を把握するのは難しいといい、「食糧支援がどのくらい必要なのか分からない。劣悪な衛生状況をいかにクリーンにし、

医療活動の環境を整えていくかも今後の課題」と話した。AMDAは、これまで本部や各国支部から延べ七十七人の医師や看護師らを派遣。今後も継続支援することにしており、十四日に医師ら三人が発する。